

## 青木ヶ原樹海・風穴探検報告

【日時】 7月26日（水）

【天候】 雨のち曇り

【行程】 最初の計画では駐車場→富士風穴→大室風穴→大室山→駐車場であったが、天候により次のとおり変更となった。  
千葉駅北口→精進湖入り口駐車場→本栖風穴→富士風穴→精進湖入り口駐車場→いずみの湯→帰葉

【参加メンバー】 前田（CL）、山内（SL）、石橋（SL）井上（志）、江橋、  
藪田、滝本、堀田、松本、山本（晃）、飯田

【内容】 かつて70年代、80年代にやらせの元祖ともいわれている「水曜スペシャル 川口浩探検隊」という番組があった。アマゾンや世界各地の秘境を訪ね、謎の真相を求めて探検する番組なのだが、その「川口浩探検隊」が平成の世に「前田春奈探検隊」として蘇った！といったら大げさかな。

さてさて、前田隊長以下11名、2台の車に分乗し千葉駅を出発するもぼつぼつと雨が降り始め、都心に近づくにつれ土砂降りとなり前を行く車が分かりにくいほど。まったく先が思いやられる・・・。河口湖ICに到着した時には雨もやみ、このまま降らないでくれ！と神頼みも空しく精進湖風穴駐車場に到着し、風穴目指して歩き出すとまたもや雨模様。今日は降ったりやんだりの一日とあきらめの気分。

風穴に通じる道は登山道というよりも自然歩道といった感じで、アップ・ダウンもなく実に歩きやすい。樹林帯を歩くおかげで雨もそれほど気にならない。30分も歩くと本栖風穴に到着したのだが、なんと立ち入り禁止のテープが張り巡らされており、残念ながらここは断念することに。外からだとは分かりにくいですが、それでも想像するに縦にかなり深そうだ。

気を取り直し次の富士風穴に向かう。途中、小さく可愛らしい風穴を見つけ、名も記されていないので勝手に「前田風穴」と命名！

富士風穴が近づくにつれ、冷気が漂い肌寒くなってきた。風穴までもうすぐだ。風穴は歩道から少し降りたところにあり、降りると一気に夏から冬モードへ。二羽のミソサザイが出迎えてくれてちょっと感激。

登山靴に荒縄を付け大きな口を開けた入り口に入り、凍った底を慎重に洞窟内を進む。全くの暗闇で何があるのか見当もつかず、ヘッドランの明かりだけが頼り。1時間ほど洞窟内を見学し風穴を出るとメガネが真っ白で気温の差を感じる。富士風穴を出た後は樹海歩きを堪能し、駐車場へと戻り帰葉。途中、明治時代の養蚕を支えた富岳風穴を見学し、汗を流しにいずみの湯へ立ち寄り帰路に就いた。

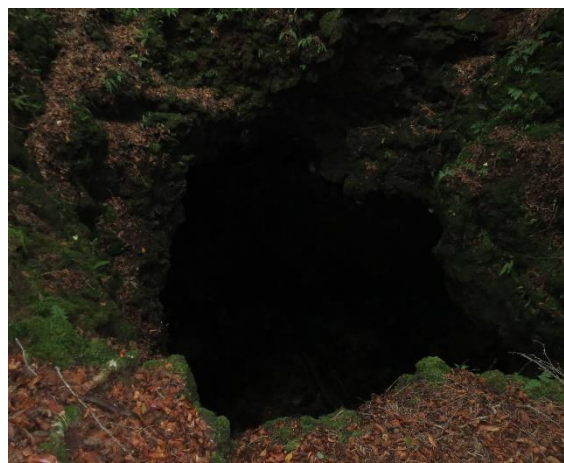
なお、富士風穴は天然記念物であり、入洞に際しては明確な目的が無ければ許可がおりない。樹海の貴重な植生や風穴の成り立ち等を、自然保護の立場から勉強しつつ楽しむことができた。

今回、急な事情により平野さんが不参加となってしまいましたが、皆さんのおかげで無事計画を進めることができました。貴重な体験が得られ、次回も探検隊に参加したいと思います。

記録：いいだ



ここで荒縄をテスト

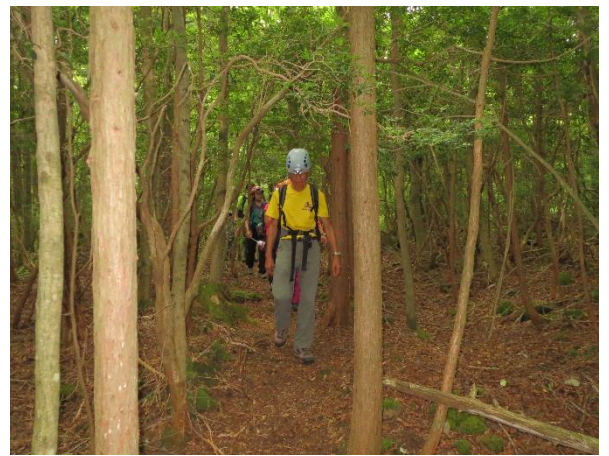


分かりにくいけど本栖風穴





本栖風穴前で。人数が足りない！



樹林帯は意外と快適



これが前田風穴だ！



富士風穴入洞前の準備



富士風穴入り口



富士風穴前で集合写真